

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2013 年 2 月号 (第 58 号)

発行責任者 薄井 文子



北中の森雪景色

第 6 期事業計画を進めるにあたって

事業部長 志村喜八

サークル活動を基盤とするところざわ倶楽部は、皆さんが作り、育てていく倶楽部です。皆さんの協力なくしては進めません。そのためには各サークルの声を生かしていくことが求められていると感じています。

既に開始しておりますが、今期は理事によるサークル訪問をさせていただいています。その際各サークルの皆さんの忌憚のないご意見を、ぜひお聞かせ下さいますようお願い致します。

各サークルには素晴らしい方が多くおられます。倶楽部の運営に当たっては、この力を吸い上げていくことがとても大事です。理事の皆さんがこのことを大切に、理事会とサークルとの間の橋渡し役としてご尽力下さることを切に願っています。

この1年の事業計画を右記のように心積もりしています。それぞれの計画を具体化するに当たっては、皆さんのお力を借りてより意義深い事業となるよう進めていきたいと思っています。

今期は会長、三役とも新人ですが精一杯頑張ってますのでよろしくお願い致します。

第 6 期事業計画

3 月 26 日(火)講演会「iPS 細胞の将来(仮題)」

講師：長谷川由紀氏 (理化学研究所 理学博士)
話題の iPS 細胞について分かり易く解説。

5 月 ところざわ倶楽部文化祭

昨年は7月末でしたが本年は5月末開催。皆さんの作品展示会も検討中。多くのサークル、グループ、個人での参加者を募集中。応募のあった企画をリストアップし、2月中には一定の方向を出したいと思っています。ところざわ倶楽部らしい、楽しい文化祭にしたいですね。

7 月 映画と講演

「懐かしの映画・鑑賞会」サークルと共催で検討中。楽しいイベントにしたいと考えています。

8 月 古典講座「松尾芭蕉の世界」(仮題)(3~4 回)

講師：川上義正氏
多くの俳句ファン、文学ファンに向けて初のところざわ倶楽部教養講座。

10 月 “吉田の龍勢祭り”バス旅行

「地域の祭り研究会」と共同開催。サークル間の交流がはかられればと思っています。

10 月末 芋煮会

1月の倶楽部事業実施報告

事業部

「サークル説明会」及び「新春公開講演会」 盛会裏に終了！

1 月 30 日(水) 中央公民館ホールにおいて、午後 1 時 30 分から「サークル説明会」、午後 2 時 10 分から滝谷紘一氏(元内閣府原子力安全委員会事務局勤務)による講演会(テーマ:「放射線のなにが問題か」)が開催された。講演内容は今最もホットな問題であり、約 150 名の方が聴講。うち 50 名は一般市民であった。講演に続く質疑においては数多くの質問が出され、熱気ある活発な討論が行われ、盛会裏に終わった。

第一部：サークル説明会

最初に薄井文子会長によるとところざわ倶楽部の既存 14 サークルの概要説明、次いで 19 期修了者が新しく立ち上げた 2 サークルの代表による紹介が行われた。「懐かしの映画・鑑賞会」(代表 二上拓夫)は、懐かしき良き時代の映画を観賞するサークルで会員数現在 27 名。また「歴史を楽しむ野老会(略称:ところ会)」(代表 居田治)は、「歩いて学ぶ所沢の歴史」をモットーに活動、今後は所沢の外にも活動範囲を広げるそうだ。会員数現在 17 名。両サークルとも意欲的でフレッシュな紹介が行われ、今後の活動が楽しみである。

第二部：公開講演会



講演は、2011.3.11 東日本大震災の福島原発における多量の放射性物質の放出に伴う、放射能汚染による被曝と健康に焦点を絞って進められた。

被曝線量と放射線障害、各地の放射線量、食品中の放射性物質と基準値、低線量被曝にどう向き合うか等、人体への放射線の影響について分かり易く解説され、放射線の恐ろしさが改めて実感できた。

「原発は安全に制御・管理できる」「炉心溶融事故の発生確率は非常に小さい」と述べてきた原子力ムラ。

「私はその中にいた一人として深く反省し、お詫びします。放射線災害のリスクのない安心できる社会のためには、原発を

ゼロにするしかない」と結ばれた。

(事業部 池田)



平成 25 年 1 月理事会報告

総務部

1 月理事会は 15 日(火)に開催されました。

1 会長事案

- (1) サークル訪問の実施報告(地球環境に学ぶ、所沢の自然と農業、傍聴席)
- (2) 今後の訪問予定サークルの検討
- (3) 「市民大学は今」の「広場」掲載再開について、現市民大学企画委員との協議を行いたい。

2 総務部事案

- (1) 会員動向報告: 確定会員(会費払込済) 242 名、(郵送費払込済 61 名)
- (2) 19 期生が 2 サークル立ち上げた。懐かしの映画・鑑賞会、歴史を楽しむ野老会。更に 1 つ結成の予定
- (3) 広場のメール配信、廃止を検討課題とする。ホームページ閲覧へ引き続き検討。
- (4) サークル補助金 3 月理事会で交付予定。2 月末までにサークル会員名簿を総務部へ提出。

3 事業部事案

- (1) 30 日のサークル説明会、講演会の運営、役割の説明

- (2) 当日配布資料は事業部で一括印刷。既存サークルの一覧表は従来のものに加筆修正
- (3) 会長による既存サークルの説明は、分野別等サークルの特色のわかる程度とする。
- (4) 5 月実施文化祭、会場を 5 月 31 日で仮予約。2 月末まで締め切り延長。次回理事会までに各サークルで出演者、作品の候補者を検討の事。
- (5) 3 月企画、講演会「iP S 細胞の将来」(仮題) 3 月 26 日(火) 新所沢公民館 準備中

4 広報部事案

- (1) 1 月 11 日発行「広場」1 月号の紹介。配信実施済み。
- (2) 広場 2 月号編成案の説明。
- (3) 特別会員の執筆者の掘り起しを図る。
- (4) HP 維持費の軽減を図るため HP を 3 分割し、それぞれリンクさせた。閲覧に難点があるか否か意見があるか会員に問い合わせしてほしい。また、3 分割により昨年の「広場」を閲覧できることになった。各サークルの HP 更新と投稿をお願いする。

新サークル紹介 その1

「懐かしの映画・鑑賞会」

懐かしい映画を鑑賞し、一笑一若！

最近、テレビ(NHK BS プレミアム)などで、昔の懐かしい映画がよく上映されております。私たちのサークルは、ただ懐かしい時代の映画だけでなく、現役の時に見逃したり、子育てでゆっくりと楽しめなかった時代の映画も、皆さんと一緒に大きなスクリーンで、大いに楽しみたいという趣旨で立ち上げました。

また、皆さんとワイワイ言いながら映画を楽しむ、『一笑一若』(「いっしょういちじゃく」：一つ笑えば、一つ若くなる)の精神で、笑い声の出る映画を大いに上映し鑑賞していきたいと考えています。

上映作品の内容もありますが、その時代背景や出演俳優、特には主役より脇役俳優などを話題にして、上

「懐かしい映画・鑑賞会」代表 二上拓夫

映後に、お茶や持ち寄ったお菓子などを食べながら大いに談笑する事に趣をおいています。

皆さん、興味がありましたら、チョッと覗きにきてみては如何でしょうか。

- ・上映場所：「西新井町公民館」(熊野神社境内)
浦所街道沿い・航空公園駐車場向かい。航空公園駅南徒歩約10分。神社境内は駐車・駐輪可
- ・上映時期：1回～2回/月
火曜日 午前10時～12時30分
- ・会費：年会費(会員)1,000円
木戸銭(都度会員)200円/回
- ・連絡先(二上)：電話 04-2998-1958
E-mail futakami@d2.dion.ne.jp



新サークル紹介 その2

「歴史を楽しむ野老会」

～楽しみながら歩いて学ぶ所沢の歴史～

「歴史を楽しむ野老会(略称:ところ会)」代表 居田 治

市民大学19期で、「所沢の歴史」をグループ・ワークに選んだ私達仲間は、「歩いて学ぶ所沢の歴史」と称して、9日間にわたって市内各地を探訪しました。

その時受けた感動は大きく、卒業後もこの活動を継続しようということでこの会を結成しました。

今後は所沢の歴史を中心にしつつも、さらに活動範囲を所沢の外に広げ、また、親睦を加えた各種テーマを設定し、歴史を学ぶというよりは歴史を楽しむ会として活動してまいります。

サークルの現状は以下のとおりです。

会員数：17名

活動日：不定期(金)、年間10回程度を予定、

会費：年会費2,000円

会員募集：随時

連絡先：居田 治

Tel：04-2903-8400

Mail：o.sueta@trust.ocn.ne.jp

5月までの予定

- 2月28日(木) 国立歴史民俗資料館(佐倉)見学
とその他史跡散策
- 3月28日(木) 明治大学博物館の見学と御茶ノ水
界隈散策
- 4月19日(金) 所沢を歩く(1)
西所沢～普門院、瑞岩寺、永源寺、長久寺
- 5月31日(金) 所沢を歩く(2)
小手指周辺の石橋供養塔を訪ねる。

1月31日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館(大宮)
の特別展を見学し、氷川神社を訪ねてきました。



新サークル紹介 その3

「民話の会」

－ 地元の昔話、伝説、世間話を掘り起こし、語り部に －

「民話の会」代表 仲山富夫

所沢の民話や伝説が最初に市民に紹介されたのは、旧「所沢市史」(昭和 32 年刊)でした。これには 4 点、ついで発刊された「ふるさと所沢」では、7 点が所収されました。

これら以外にも、聞き取り調査で採集された話があります。また、先輩諸氏にお聞きしますと、地元の昔話、伝説、世間話はまだまだ沢山あるとのことでした。

民衆の中から生まれ、生活・感情を反映して語り継がれてきた説話や伝説を掘り起こしながら、多くの方々と共に古の生活等に触れる機会を持ちたいと考えています。

私達「民話の会」は、「お話会」を開催することを目標とします。そのためには、由来地を訪ね、できれば住職・神官、土地の方々にお話を伺い、広く深く勉強したいと思っています。

さらに、昔話、伝説、世間話の聞き取り調査を行い、民話由来地マップ等を作りたいと考えています。そして、楽しい内容にまとめ、例えば「紙芝居」風に編集してパワーポイントに記録し、私達会員全員が語り手になって、老人会や幼稚園や文化祭等でお話をしたいと思っています。既に、活動されている個人やサークルの皆様からお知恵を頂きながら、より内容の充実に努めていきたいと考えています。

ところざわ倶楽部の先輩諸兄姉におかれましては、幼い頃に聞いた懐かしい話をお持ちの方が沢山いらっしゃると思います。どうぞお声をかけて下さい、馳せ参じますのでお聞かせ下さい。

「民話の会」は、いつでも皆様のご参加をお待ちしております。

【第6期の活動 へのお誘い】

《 葵の会 》

古典講座「古事記」

2月14日(木)より開始!

葵の会 代表 池田新八郎

葵の会はサークル結成 4 年目を迎えました。講師に小川達雄先生をお招きして、初年度「万葉集」、2 年度は「源氏物語」、そして昨年は「平家物語」を学びました。古典は「見ぬ世の友」と言われます。「徒然草」に「ひとり、灯のもとに文を広げて、見ぬ世の人を友とするぞ、こよなうなぐさむわなる」(第 13 段)と兼好は記していますが、古典文学、時間を越えたかなたの時代からやってくる名作を「見ぬ世の友」とし、読書に親しむことは、年を重ねるにつれ心にしみいるものがあります。サークル結成時 12 人ほどだった会員も現在 29 名になり、古典ファンも増えてきました。

本年度は昨年、編纂 1300 年を迎えた「古事記」に挑戦します。昨年は宮崎県、島根県、奈良県などゆかりの地で数々の記念イベントが開催されたそうですが、舞台となったゆかりの地を旅し、古代ロマンに浸って

みるのも一興かと思えます。

「古事記」は上・中・下巻三巻からなり、日本の始まり、日本列島の成り立ちと国造りが語られ、国譲り、天孫降臨を経て、神武天皇までの日本の「神話」が記されています。登場する神々もとても大らかで、喜怒哀楽に富んでいて、現代社会に生きる私たちを魅了させるものがあります。ところざわ倶楽部会員の皆様、積極的にご参加ください。

日 時：2 月 14 日(木)午後 1 時 30 分～4 時

場 所：中央公民館 7 号会議室

講 師：小川達雄先生

テーマ：「古事記」

第 1 回「天地初発から黄泉の国まで」

連絡先：池田 ☎ 2940-0711

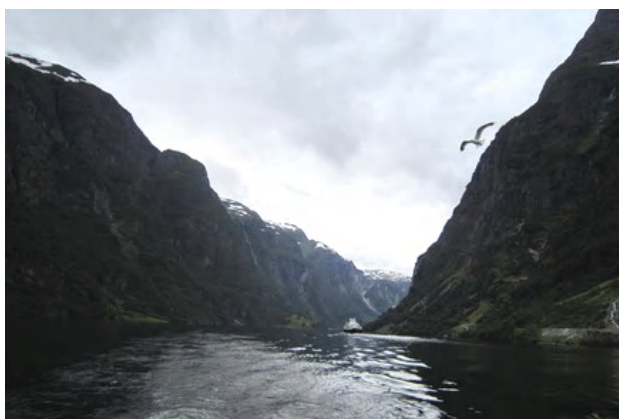


エッセイ

北欧の色と音 そして人魚姫

《 北欧の会 》 児新 喜美子

白夜の頃に北欧を旅してみたい・・・というぼんやりした想いを、私はいつから持ったのだろうと考えてみた。確かあれはまだ学生の頃、東山魁夷の北欧の絵の前に初めて立った時からだったように思う。瑠璃色と群青色のグラデーションで描かれた深い森林、幻のように透きとおった白い馬。その前で私は静かな感動に包まれた。しかし、その頃の自分にとってその地は余りに遠い国々であった。



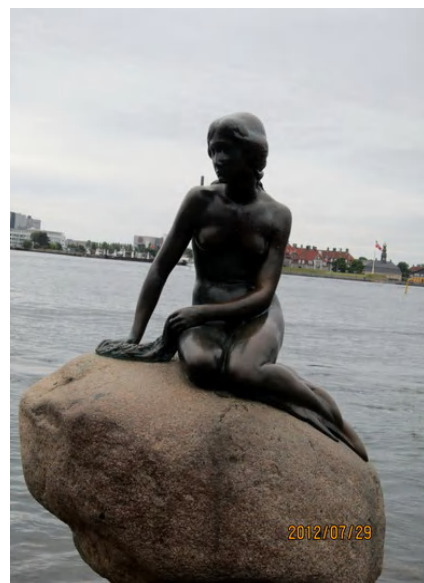
8月初旬の夕方4時過ぎ、オスロ近くのリレストローム駅からストックホルム駅へ向かう国際列車に乗った。街を抜けると、あの絵画の風景が私の目の前に広がった。しばらくし客車からカフェの香りがする小さな食堂車に移った。私は子供のように飽きもせず、揺れる電車の窓に時折おでこをぶつけながら外を眺め続けた。白い光が降り注ぐ何処までも続く広大なモミの深林、ひっそりと豊かに水を湛える神秘的な幾つもの湖。清涼感溢れる東山ブルーの色彩と心地良いリズムを感じさせるあの樹々の描き方は、この景色と彼の求める心が響き合い生まれたのではないかとふと思った。ノルウェーでは家の外壁は煉瓦色、レモン色、生成り色の3色に限られている。それらに塗られた家々が美しいアクセントになって森の中に佇んでいる。陽は午後9時を過ぎると漸く暮れ始め、ストックホルム駅に着いた時には夜10時を少し過ぎていた。

小ぢんまりとしたハダングルフィヨルドホテルに着いた時は夜になっていた。ひと休みして部屋を暗くしソファで寛いでいると、静寂のなか微かな音が聴こえた。耳を澄ましても何の音か分からなかった。波の音でも風の音でもなかった。重い硝子戸を開けバルコニーに出ると、その音は太古のむかし氷河に削られこの地が創られた湖の音だった。暗闇のなか彼方の丘に

暖かな家の灯りが揺れていた。モーツァルトのファンタジア/ニ短調のアダージョを弾く時、私は必ずこの美しい音を思い出す。

嵐の夜、難破した船から恋する王子を命がけで救った人魚姫。その王子に再び逢う為、美しい声を失い、歩きたび刺すような足の痛みを耐え人間になった。しかし声を無くした姫は王子に愛を打ち明けることも出来ず、気高く水の泡となって消えていった。

そのブロンズ像は脚の先まで滑らかで愛らしく美しい。右手には姉妹たちから渡された大切な髪をしっかりと握り締め、顔は切なく哀しみに満ちている。その苦しげな表情を間近で見上げたとき、私は震えた。



子供の頃のアンデルセンは苛められっ子で、父は病がち、母は洗濯婦。貧しかった、が愛され育った。どんな時でも最善を尽くして生きよ、気品を持って生きよ、と彼は伝えたかったのかも知れない。

その地に立って初めて見えてくるものがある。忘れられない情景、多くの国の人達と共有した弾ける時間、たくさんの笑顔と親切、その一つ一つが私の宝物になっていく。



支え！ 学び！ 遊ぶ！ サークル活動

サークル活動報告

《 所沢の自然と農業 》

「シンポジウム」と「落ち葉掃き大会」を開催

「第3回 農と里山シンポジウム」報告 ～三富(さんとめ)を未来に～

清水仁一



本シンポジウムは、ところざわ倶楽部が後援団体に加わり、当サークルが産官学民一体となった実行委員会に参画して企画、開催しているものです。

当日は、会場一杯の300人超の参加者と来賓として広畑埼玉県副知事、川越市穴戸副市長、西山県会議員他をお迎えしました。武蔵大学教授の後藤光蔵氏による基調講演「いのちとくらしを支える都市農業」に続き、後藤教授のコーディネートで地元農家、消費者代表の生活クラブ理事、JA いるまの営農部長によるパネルディスカッションが行われました。

私たちが住んでいる所沢市も典型的な都市近郊農業地域であるため、講師が例示した東京都練馬区などの行政、農家、地域住民が一体となった農地活用の取り組みは参考になりました。

今回のシンポジウムが、「農地や平地林は、野菜の生産だけではなく、地球環境や大災害対応等の面からも機能が見直されており、農家の財産としてだけではなく、地域の財産として地域一体となって守っていかなければならない」という考え方を広めていくことに繋がれば幸いです。また、参加団体の活動の展示や「富の里山」写真展、三富材を使った木工品販売なども多くの方々に興味を持っていただくことが出来ました。



「第2回 三富・千人落ち葉掃き大会」報告 ー循環型農業を守るー

木島泰二

「千人落ち葉掃き」は、三富地域全体で参加者千人以上を目指して第2回を開催中です。(～2月末まで)

1月27日(日)には風も穏やかな落ち葉掃き日和の中、メイン会場である下富の横山農園周辺地域の、平地林約2ヘクタールで140名が参加して実施されました。特に家族連れの参加者が多く目立ちました。

雑木林は事前に枝拾いがされており、又、落ち葉掃きの手順を明確にするためのピンクリボンのポールを立てたりと工夫がなされ、予想を遥かに越える速さで綺麗に掃くことができました。



140人のマンパワーに“！”です。

会場の地主である横山さんのお母さんもモンペ姿で参加されており、昔は人手がなく農作業の合間・合間に落ち葉を掃き、終わるのはお盆の直前だったものだとお話をしていました。

昼食には「けんちん

汁」が振る舞われ、皆さん車座になって美味しい一時を過ごしました。

昼食後の早稲田大学大堀先生の循環型農業の講演は、雑木林の中で聞くと又一段と説得力がありました。

最後の閉会式では5歳の男の子が堂々と前に出て「楽しかったです」で締めくくりました。



サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

サークル活動計画 興味のある活動に参加してみませんか？	葵の会（池田新八郎 2940-0711） 2月14日（木）13：30～16：00 中央公民館7号室 古典講座「古事記」第1回 講師：小川達雄先生 テーマ：「天地初発から黄泉の国まで」 ※ご興味のある方は積極的にご参加ください。
アジア研究会（小椋雄二 2921-7739） 2月20日（水）13：30～16：30 定例会 中央公民館 8、9号学習室 DVD「刈工業団地のその後」観賞 3月18日（月）13：30～16：30 定例会中央公民館 演目及び詳細後報	楽悠クラブ（甲田和巳 事前連絡は不要） 2月12日（火）13：30～喜歌劇「こうもり」 3月12日（火）歌劇「古事記」 いずれも、（時）13：30～（場）中央公民館 #8・9 3月31日（日）オーケストラの日コンサート鑑賞
公園を楽しむ会（渡部正俊 2921-3014） 2月21日（木）：新河岸川の散策 3月7日（木）：日帰りバス旅行 北総の小江戸・歴史の街・佐原散策、他 3月28日（木）：柳瀬川沿い散策	地域の自然（多胡國男 2993-6143） 2月2日（土）10：00～ 落葉掃きイベント 多数の方の参加をお待ちしています。 2月23日（土）09：00～ 定例会 調査地整備等 3月9日（土）09：00～ 毎木調査区画の選定等
地域の自然を考える会（前岳良子 2928-7334） 2月26日（火）定例会（トトロの森12号地管理作業） 3月26日（火）トトロの森12号地管理作業	地域の祭り研究会（加藤敏恭 2923-5263） 2月6日（水）9時～11時 新所沢東公民館 3月22日（金）開催予定の「八王子車人形西川古柳座」 見学会の打ち合わせ他 2月下旬 参加者状況確認及び検討会 日時・場所未定
地球環境に学ぶ（塚本二郎 2942-3117） 2月19日（火）15時～定例会 新所沢東公民館 1月30日の講演会についての意見交換、容器包装リサイ クル法の問題点と改正市民案の紹介他 3月19日（火）15時～定例会の予定	所沢の自然と農業（清水仁一 2944-8835） 2月14日（木）定例会：新所沢公民館13：00～ 2月24日（日）横山農園落ち葉掃き10：00～14：00 3月8日（木）定例会：新所沢公民館13：00～ 3月24日（日）景観まちづくりシンポジウム
野老澤の歴史を楽しむ会（戸田チ子 2995-0133） 2月21日（木）9時～13時 中央公民館 地産地消（調理実習・里芋だんご） 3月7日（木）武蔵野33観音巡り 3月21日（木）高橋玄洋先生を囲む座談会13時～	ドラマティック・カンパニー（八木雅子 2995-0148） 2/16、3/9、3/23（全て土曜日）10：00～正午 会場：新所沢東公民館 『アントニーとクレオパトラ』を読み進めるととも に、実際に朗読を行います。
懐かしの映画・鑑賞会（二上拓夫 080-1250-6151） 2月19日（火）10時～12時30分 西新井町公民館 ■「洋画 最後の初恋」（'08年）リチャード・ギア 3月12日（火）10時～12時30分 西新井町公民館 ■「任侠 緋牡丹博徒」（'69年）藤純子・高倉健	傍聴席（高垣輝雄 2926-7164） 2月18日（月）定例会、14時～新所沢東公民館 ①25年度総会：年間活動計画等 ②意見交換：市議会の政策討論会「地域福祉『孤立 死・児童虐待を防ぐ』」を聴いて、ほか
北欧の会（樋口俊夫 090-6483-7993） 3月2日（土）第37回例会 13時20分 テーマ 北欧と日本との福祉の違いについて 3月23日（土）第38回例会 13：20～ 場所 新所沢東公民館	民話の会（仲山富夫 2948-9255） 2月26日（火）11時～13時 新所沢東公民館 第一回打ち合わせ会 3月末 「所沢の民話」勉強会を予定
歴史散策クラブ（大河原功 2943-2004） 2月16日（土）深川不動尊と水天宮、所沢駅9：30 3番ホーム・池袋行最前部付近 2月26日（火）全体会議、新所沢東公民館13：30～ 3月28日（木）浅草寺大絵馬展他、所沢駅9：00 3番ホーム池袋行最前部	歴史を楽しむ野老会（居田治 2903-8400） 2月28日 国立歴史民俗資料館見学、他史跡散策 3月28日 明治大学博物館見学、御茶ノ水界限散策 4月19日 所沢を歩く(1) 西所沢～普門院、瑞岩寺等 5月31日 所沢を歩く(2) 小手指周辺の石橋供養塔

【私の健康法】

《所沢の自然と農業》 相澤マキ



はや自分の齢が 70 の大台を迎えるころ、
今が一番私は幸せなのかかもしれないとふ
と気がつく。例えば我が子たちがそれぞれの家庭生
活を営み、そこにさほどの心配はない。ましてやこ
の御年にして、私の骨密度は 20 代の 90%？しかも
40 代での大病の後遺症もなく、血圧も安定したま
ま？このバアバときたら、実に気楽な人生の終焉？
そうか、やっぱり私は今が一番幸せなのか？

でも〜と、ふと意地悪く問うてみた。なににそ
んなに満足なの？毎日の暮らしに？それほど自由な
の？それほどゆとりがあるの？それほど意義がある
の？と。それはないよね、誰だってそんなに簡単に
悟れない。でも、まあ、いいほうかもなと言ってみ
て、それはなぜかって？それは多分、単に今が健康
だからじゃないかしら？それだけでも大事なことだ
としたら、さあ、この健康はどこから来てるの？

それは私の場合、唯我独尊みたいなものかもしれ
ない。己を信じ、己の思うがままに生きていこうと
するおかげ？

私は友との別れに、最近「また会おうね」って声
をかけます。時には手を握りながらです。イメージ
力がある人ほど人への思いも深くなり、笑い顔では



ごまかせないこの世の怖さを知っ
てます。

だからね、せめて自分に正直に無
理ない暮らしをしませんか？それ
が一番の健康法だと思うから。

※平成二十二年の四月に発足した「むさし野俳句会」も三年目に入り合同句集を発行することが出来ました。

白鷺の身じろぎもせぬ淑気かな
底知れぬ日本の不安蝶生る
成駒屋の真赤な半襟花の春
大サハラ水満々と蜃気楼
安寧を光に託す去年今年(ごぞこし)
物の怪のまた近付きぬ多喜二の忌
草に木に産湯のやうな春の雨
初場所にかける力士の気魄かな
うねうねと踊るが如き臥龍梅
初茜あたり一面朱の投網
金縷梅(まんさく)や大き名札の研修生

鈴木すぐる
鈴木 征子
小林 貞夫
小林 典子
佐藤 英子
佐藤 八郎
白神 恵子
高橋 三郎
高梨 千代
高光 泉
利根川啓一

春寒や停電中の蒸(ふか)し芋
蒼天をさかさまにして梯子乗り
一管の笛を合図の春芝居
悪役も手拭ひを撒く初芝居
春の海首を振り振り水牛車
菜の花や釣り舟いでし潮境
注連飾るものみな神の秩父郡
香り立つ八尾若ごばう春を告げ
島挙げて椿まつりの椿咲く
轉りのたけなはなれば歩も緩み
三代の集ふ笑顔や福寿草

中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
荒幡千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤愛之助
岡本 詔一郎
岡本 博
粕谷 昇
河瀬 俊彦

むさし野俳句会(二十五年一月) 合同句集より抜粋

《編集後記》

昨年 12 月から「広場」の紙面作りをお手伝いする
ことになりました。よろしく願い致します。仕事始
めに、この季節の天象気象の話題を。▼暦、気象情報
でお目にかかる「二十四節気」。1 年を 24 に分けて季
節の移り変わりを表している。まず“春”。立春・雨水
…と続き、次は“夏”、そして“秋”を経て“冬”に至
り、立冬・小雪・大雪・冬至・小寒・大寒になる。▼
冬至は昼が一番短く、逆に夜は長くなる。ところが、
意外と知らない「冬至」と「日の出・日の入り」の関
係。冬至の日(去年は 12 月 21 日)は、「日の出が最も遅
くて、かつ日の入りが最も早い」のだろうか。▼新聞
で所沢の「日の出・日の入り」を調べた。「日の出」が
最も遅いのは 1 月 2 日から 10 日にかけてで、時刻は 6

時 52 分。一方「日の入り」が最も早いのは 11 月 29
日から 12 月 8 日にかけてで、16 時 27 分であった。

▼「秋の日はつるべ落とし」という諺を耳にする。晩
秋になると日に日に日没の時間が早くなり、つるべが
井戸を滑り落ちるように、あっという間に日が暮れる。
そんな気がするのは私だけではないでしょう。▼小寒
(今年は 1 月 5 日)から節分(同 2 月 3 日)までを「寒」
というが、その冬の最低気温が観測されるのは大寒(同
1 月 20 日)の頃から。日差しは春に向かっているのに
厳しい寒さが続く。▼2 月 18 日は二十四節気の 2 番目
の「雨水」。それまで雪が降ったり、凍っていた気がゆ
るんで、水分が雨となって降る。これからは三寒四温
となり、日の出は、最も遅い 1 月上旬とくらべ 27 分
ほど早まり、6 時 25 分。 鴨田孝司 記